



平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

南幌町長 三好 富士夫



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

標記の件につきましては、別紙のとおり提出いたしますので宜しくお取り計

らい願います。

中期的な計画の作成にあたっての意見

◎ 北海道道路政策全般に関する意見（特に優先度の高い政策について）

- ・ 北海道の広大な地域を結んでいるのは、道路であり道内の物資（農産物、漁獲類、生産物等）流通には必要不可欠な社会資本であります。これらを輸送する手段としては、今は道路であり迅速に物資流通を図るには、高規格幹線道路のネットワークを充実させなければ成らない。今北海道を見ると、全国と比べ高速道路など高規格幹線道路の整備がかなり遅れており、道東などは一部の区間が完成しているが整備年度が見えない状況では北海道の未来と発展が望めない。
- ・ 北海道の観光を発展させるには、高規格幹線道路のネットワークの整備はもちろん地域にあった観光道路の整備、冬期間の雪の多い地域や雪の少ない地域それぞれに対応した道路整備が必要。
- ・ 現在、北海道では病院の過疎化が深刻な問題であり、地方部に生活する人々の命に直結する高次医療サービスの確保が緊急の課題であり、医療機関及び医療ヘリコプター基地まで迅速に対応できる道路整備が必要。

◎ 当町と地域の道路政策（効率化を進める上で重視すべきこと）

- ・ 当町は、鉄道のない町で生活は自家用車とバスなどの車社会で、道路は生活の一部となっており社会経済活動を支える基礎的な社会資本であります。
- ・ 関係地域はもちろん当町の農業や産業の発展を図るため、石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ地域高規格道路（道央圏連絡道路）整備（関係市町4市3町）を進めていただいておりますが、いまだ整備区間に指定されていない区間があり早期の整備促進を図って頂きたい。
- ・ 北海道内を物流や観光で移動するとき高速道路が非常に便利であり環境的にもメリットがあるところですが、高速道路料金の負担が大きいことから高速道路料金の引き下げを願いたい。

◎ これからの道路整備や維持管理に関する意見

- ・ 地方経済が落ち込んでいる現状で道路整備等の現行補助では、これから高齢者社会に向かって行く中、バリアフリーなど道路整備を計画する

にも財政的に難しいのが現状。

- ・ 毎年雪が降る北海道では、冬期の経済・生活を支える除雪事業等財政を圧迫していることから緩和処置を図ってほしい。
- ・ 当町では、昭和55年頃から始まった道路の舗装が、当時の交通量などの変化や経年劣化などにより、舗装のクラックや亀裂、凹凸が発生しており、単独費では対応しきれないのが現状で、早急に市町村対象の新たな補助の設立を強く望む。
- ・ 老朽化した橋や橋の長寿命化を図るためこれらの補助の充実を望む。